

鳥羽市全員協議会会議録

平成29年10月25日

○出席議員（12名）

1番	奥村 敦	2番	片岡 直博
3番	河村 孝	4番	山本 哲也
5番	木下 順一	7番	中世古 泉
8番	戸上 健	9番	浜口 一利
10番	坂倉 広子	11番	世古 安秀
13番	尾崎 幹	14番	坂倉 紀男

○欠席議員（2名）

6番	井村 行夫	12番	橋本 真一郎
----	-------	-----	--------

○出席説明者

- ・立花副市長 ・小竹教育長
- ・山下企画財政課長、山本副参事、北村補佐、栗原財務係長
- ・榎生涯学習課長
- ・寺本鳥羽市武道振興会事務局長
- ・坂倉鳥羽市開発公社事務局長、鳥羽市開発公社事務局職員3名

○職務のために出席した事務局職員

事務局 長	濱口 博也	次 長	
		兼庶務係長	上村 純
		兼議事係長	
書 記	中山 真緒		

(午前 9時30分 再開)

○浜口一利議長 皆さん、おはようございます。

ただいまから全員協議会を再開します。

本日の案件につきましては、お手元に配付してあります事項書のとおりでございます。

まず、議事に入る前に、今回の議事進行に係る注意点につきまして事務局長から説明をさせます。

事務局長。

○濱口事務局長 それでは、私のほうから注意点について説明をさせていただきます。

まず、①の公益財団法人鳥羽市武道振興会の経営状況の報告についてと②一般財団法人鳥羽市開発公社の経営状況の報告についての2件につきましては、一部事務組合や第3セクターは市が出資していてもあくまで他団体になるため、質問の対象とはなりません。昨年8月に田原市との協定締結のときにも合同研修の中で廣瀬先生のほうからも、研修の内容にありましたように実態の内情まで踏み込んだ質問はできないというふうに言われましたので、そういうことを頭に入れた上で、もし意見等がございましたら、その程度にとどめていただきたいというふうに思いますので、よろしくをお願いします。

私のほうからは、以上です。

○浜口一利議長 事務局長の説明は終わりました。

この件につきましては、法的にそのような解釈となっておりますので、ただいまの事務局長の注意点についてご理解いただいた上で質問などよろしくお願ひしたいと思ひます。

それでは、議事に入ります。

協議事項1、執行部からの報告事項についてであります。

そのうち、①公益財団法人鳥羽市武道振興会の経営状況の報告についてであります。

それでは、担当職員の説明を求めます。

教育長。

○小竹教育長 皆さん、おはようございます。

冒頭でございますけれども、一昨日の台風21号で甚大な被害を受けられた方に心からお悔やみ申し上げたいと思っております。

さて、本日の武道振興会の決算説明ということで、よろしくご審議をお願いしたいと思います。

武道振興会のほう、日ごろ活動にご理解、ご協力いただきまして、まことにありがとうございます。本日、館長も新しくかわってからの決算報告ということで頑張っておるんですけども、スポーツ振興に対するニーズが非常に多様化しております。若年者から高齢者まで、あるいは男女を問わず、それから種目も多様化しております、それにどう応えるかということで大変努力しているところがございますので、本日もご審議いただきまして、引き続きご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

では、担当のほうから説明させますので、よろしくをお願いします。

○浜口一利議長 榎課長。

○榎生涯学習課長 生涯学習課長の榎です。よろしくをお願いします。

公益財団法人鳥羽市武道振興会の平成28年度事業報告及び決算についてご説明します。

資料は平成28年度事業報告書及び財務諸表の1ページをお開き願います。

指定管理者として、武道館、体育館、野球場など七つの運動施設を一括管理するとともに、武道の普及を目的とした武道体験入会やスポーツ教室、また、市民の健康づくりのためのヨガ教室やキッズ体操教室などを開催してまいりました。ヨガ教室など健康維持増進に関連する教室に関心の高さがうかがえるところがございます。

次に、2ページには、武道館と市民体育館などの運動施設について、県内外からの利用促進の状況を記載させていただいております。人口減少、少子化、競技人口減少など、市民の運動施設利用者が減少している中、市外の方々の利用の促進の取り組みを行っております。2ページの下段の団体別集計の表では、平成28年度は前年に比べ利用団体数、利用者数とも減少する結果となりました。市外からの利用促進については、市内利用者が減少している中、重要な取り組みと考えておりますので、今後も一層の周知に努めるとともに、再度利用していただけるように利用案内の送付や施設の利用環境を整えていきたいと考えております。

次に、3ページの休館日の開放等につきましては、各施設とも月曜日を休館としておりますが、月曜日が休日となる方々のために施設を開放し、利用者へのサービスに努めております。

4ページをお願いします。

自己評価と今後の方向性ということで記載させてもらっております。平成28年度を振り返りますと、伊勢志摩サミットの開催や野球場の改修工事により運動施設の利用を停止した期間がありました。しかし、伊勢志摩サミットの警備の警察官が武道館のトレーニングルームを利用したことから、トレーニングルームについては前年より増加しております。全体的には前年度と比較しての利用実績は減少となりました。

この中で、武道の普及及び健康づくり事業の取り組みは、武道振興、健康増進のための事業について、内容の充実や新規事業を企画するため、今後、アンケート調査等を実施し、ニーズの把握をしていきたいと考えています。

県内外からの利用促進につきましては、引き続き学校、団体などへの施設利用案内等の配布を行い、利用者の増加に努めていきます。

休館日の開放及び野球場のナイター利用促進につきましては、ナイター使用料の値下げは行っておりますけれども、利用が伸びない結果となっております。市内の野球、ソフトボールの競技人口の減少という現実があり、野球場の夜間利用の促進に結びつく材料に乏しい状況ですが、引き続き休館日開放とともに利用案内に努めていきたいと考えております。

環境美化活動及び施設整備につきましては、武道館のトレーニング器具やシャワー室の整備を行いました。また、環境美化活動では、職員による草刈り作業等を行いました。今後も利用者に快適に利用していただけるように継続して取り組んでいきます。管理施設の利用者に快適な利用環境を提供することができるよう努めて、武道の普及、スポーツ、レクリエーションなどの健康・体力づくりの促進などに取り組み、施設利用者の増加につなげていきたいと考えております。

5ページからは、施設別、種目別における月別の利用者数を記載しております。

武道館におきましては、2万3,802人の方々に利用していただきました。昨年と比較し、542人の減

少となっております。主な利用者の減少理由といたしましては、スポーツ少年団や中学校のクラブ活動利用の減少のほか、サミット時の臨時休館も影響していると考えております。しかし、サミット警備関係者による5月のトレーニングルームの利用ということで、昨年よりも増加しておりました。

6ページをお願いします。6ページの運動施設種目別利用者数の表をごらんください。

全体の利用者数は、前年度に比べ2,100人の減少となっております。個々の施設では、体育館の利用者は、減少した種目はありますが、前年度並みの利用者がありました。体育館のその他の利用の増加は、市民運動会が雨天により体育館開催になったことによります。反面、野球場は、改修工事による影響で利用が減少しております。

7ページ、8ページは、施設別の収入を記載しております。

7ページの武道館収入は、前年度と比較し、サミット警備の警察官のトレーニングルーム利用により増加しております。そのほか大きな増減はございませんでした。

8ページの運動施設収入では、全体的に減収となっておりますが、特に野球場での軟式野球利用が大きく減少しました。この主な要因は、改修工事による使用できなかった期間が12月から3月まで、それとその後2カ月間を養生期間としておりまして、この間は野球場の使用を停止しておりました。

続きまして、9ページ、10ページの正味財産増減計算書をごらんください。

中段に記載の経常収益計としましては、前年度より245万円の減少の3,353万9,000円でした。経常収益の主なものといたしましては、鳥羽市からの補助金収入945万6,000円、運動施設の受託事業収入1,977万9,000円、武道館及び運動施設等の使用料収入352万8,000円などがございます。

次に、経常費用についてでございますが、経常費用額は事業費3,475万5,000円と管理費148万5,000円を合わせた3,624万円で、前年度より316万6,000円減少しました。減少の要因といたしましては、前年度職員退職による給与支出の減少が主なものでございます。

経常費用の主なものといたしましては、事業費と管理費を合わせた額で申し上げますが、職員、嘱託、臨時職員及びプール監視員などの人件費といたしまして1,339万9,000円、プールの消毒剤などの消耗品費としまして80万3,000円、体育館照明、体育館浄化槽配管、プールなどの修繕費としまして172万2,000円、体育館、野球場、プールなどの光熱水費としまして769万9,000円、清掃、電気保安点検、浄化槽保守点検、草刈り業務などの委託料といたしまして519万2,000円となっております。

続きまして、別冊の29年度事業計画書及び予算書をお願いいたします。

1ページをごらんください。

武道振興会の目標と事業内容について記載しております。本年度も武道の普及、健康・体力づくりに取り組み、施設の利用促進に取り組みます。また、施設利用者に快適に利用していただけるよう施設の円滑な運営を行ってまいります。

2ページから5ページをお願いいたします。

29年度の予算といたしましては、経常収益で3,413万8,000円を計上しております。前年度と比較して38万4,000円の減で、これにつきましては補助金の減額と運動施設使用料の減少見込みを計上しております。経常費用は、事業費3,671万6,000円と管理費153万6,000円を合わせて3,825万

2,000円を計上しております。

提出しました資料による報告は、以上でございます。

事業報告書でも触れさせていただきましたが、人口減少、競技人口の減少により、年々、定期的な利用者が減少する中、利用者のニーズを把握しつつ、各種教室に活動の場を提供していくとともに、市外の方々の利用促進にも継続して取り組み、施設利用をしていただきやすい環境を整えて、利用者の増加に努め、今後も公益財団法人としての役割を果たしていきたいと考えております。

以上、武道振興会の決算及び予算の報告とさせていただきます。

○浜口一利議長 ただいま平成28年度の事業報告と平成29年度の事業計画及び予算について説明は終わりました。

この件について、ご質問やご意見があれば伺いたいと思います。どうでしょうか。

坂倉議員。

○坂倉広子議員 ちょっとお尋ねします。平成28年度の事業報告の4ページの中で、環境美化活動及び施設整備についてお聞きしたいと思います。

武道館においてのトレーニング器具とかシャワー室の整備をされたということでありましたけれども、私も実際まだ見てございませんので、ここのされた日にち、それと、どういうふうな器具を準備、交換されたのか。大変老朽化していたということはお伺いしておりますものですから、利用の金額とかありましたら教えていただきたいと思います。

○浜口一利議長 寺本館長。

○寺本鳥羽市武道振興会事務局長 鳥羽市武道振興会事務局の寺本です。よろしく申し上げます。

まず、シャワー室につきましては、平成28年8月末に設置させていただきました。それと、トレーニングルームにつきましては、平成28年から平成29年にかけて整備をしております。まず、平成28年度に整備いたしましたトレーニング器具につきましては、エアロバイク4台、ランニングマシン1台、ベンチプレスの台ですね、スタンド1台、それからクロストレーナー1台、それからスクワットラックといたしまして、ベンチプレスを上げるための補助的な器具なんですけれども、これが1台ということで、整備いたしました。

以上です。

○浜口一利議長 坂倉議員。

○坂倉広子議員 ありがとうございます。こういうトレーニングする器具が新しくなったということは、市民の方にとってすごくいいことということで、非常に老朽化の部分で、今回こういうふうにしていただいたということですので、私もぜひ利用させていただきたいと思います。ありがとうございます。

○浜口一利議長 河村議員。

○河村 孝議員 今年度の予算も言っていただいて、さっきの話にもつながってくるんですけども、今年度、修繕したり新しく購入する備品等々、具体的な計画があれば教えていただきたいんですけども。

○浜口一利議長 寺本館長。

○寺本鳥羽市武道振興会事務局長 これにつきましては、トレーニング器具、シャワー室の整備につきましては、武道振興会の施設整備基金というのがございまして、それを利用しまして整備をしております。28年度、

29年度でほとんど施設整備基金につきましては消化しましたので、今後の整備につきましては、また別の形で考えていくということになるかと思えます。

以上です。

○浜口一利議長 河村議員。

○河村 孝議員 実は市民の方に私は呼ばれて叱られまして、写真も撮りに行って来たんですけども、更衣室のロッカー、もう今、鍵も使えない。今ここに写真がありますけれども、老朽化していますよね。あと、一部窓があかないところがあったのかな。予算等々の事情もあると思うので、随時できる範囲で対応していったきたいと思うんですけども。

○浜口一利議長 寺本館長。

○寺本鳥羽市武道振興会事務局長 先ほど説明させていただいたとおり、基金のほうはもうほとんど残額がございませんので、また別の形で考えていきたいと思えます。

以上です。

○浜口一利議長 よろしいですか、河村議員。

○河村 孝議員 はい。

(「関連」の声あり)

○浜口一利議長 尾崎議員。

○尾崎 幹議員 同じことを去年言われておるんさな、片岡議員から、使えへんだと。教育委員会として指定管理をしておるわけやんか。やっぱり方向性をちゃんと持たないと、いつまでたってもお金がないからできませんでしたと言うんやったら、公のものじゃなくなるやんか。そこはどう考えておるの。

○浜口一利議長 シャワー室は直したんやろう、今。

○尾崎 幹議員 いや、ロッカーも閉まらなんだと去年言うておるはず。

○浜口一利議長 榎課長。

○榎生涯学習課長 一遍になかなかできない中で、トレーニング機器も古かったということ。それから、あとシャワー室というのが非常に使いにくいということをまず念頭に置きまして、そちらのほうからかかせていただきました。武道振興会のほうの設備資金としてはないということですけども、こちらのほうはまた相談しながら、快適な利用を促進できるように考えていきたいと思えます。すぐに答えが出せないのが申しわけございませんけれども、徐々にご指摘のところについては考えていきたいと思えますので、よろしく願います。

○浜口一利議長 尾崎議員。

○尾崎 幹議員 やっぱりロッカーとかそういうものだけじゃなしに、本体をかえていかないかんという計画はしっかり出さないと、もう。あるいは、本当に市民が使っておるときに何かあってからでは遅いわけやで、全体をもう一遍見直すような形は、市長と相談していただいて。公共施設なんやで、より一層安全で、それを身近な人が使えるように、もう一度考え直すことが必要じゃないかなと思っています。もうお金がないからというのは、それはもう市民から見たら言いわけにしかとれへんように僕は思っていますから、そこら辺はしっかりとやっていただいて、早急に建てかえるものは建てかえて、できひんようになるまでにやらないと。

以上です。

○浜口一利議長 そのような方向性でお願いしたいと思います。

ほかにごいませんか。

(「なし」の声あり)

○浜口一利議長 戸上議員、よろしいですか。

○戸上 健議員 結構です。ありがとうございます。

○浜口一利議長 それでは、ないようですので、この件は終了いたしたいと思います。

説明員入れかえのため、暫時休憩いたします。

(午前 9時50分 休憩)

(午前 9時57分 再開)

○浜口一利議長 休憩前に引き続き、会議を再開します。

続きまして、②一般財団法人鳥羽市開発公社の経営状況の報告についてであります。

それでは、担当職員の説明を求めます。

副市長。

○立花副市長 本日は、鳥羽市開発公社の経営状況の報告会にお集まりいただきまして、ありがとうございます。

当社は、平成25年4月に非営利型の一般財団法人になり、4回目の決算となります。かき殻等加工処理事業と土地分譲事業を継続性のある公益事業として、また、土地建物貸付事業、施設管理事業、駐車場事業を収益事業として行っております。継続性のある公益事業の収支マイナスによって、平成25年3月31日時点における開発公社の純資産を公益目的のために支出していきながら公社全体を健全に経営していくためには、収益事業において収益を上げるべく努力をする必要があるということで事業を進めております。

開発公社各事業の概要につきましては、この後、事務局より説明いたしますが、今後におきましても事業の効率化を図りながら市域の発展のために貢献できるよう努力してまいりますので、よろしくお願いいたします。

○浜口一利議長 坂倉理事。

○坂倉鳥羽市開発公社事務局長 開発公社事務局長の坂倉でございます。よろしくお願いいたします。

それでは、鳥羽市開発公社の経営状況の報告といたしまして、平成28年度決算事業報告及び平成29年度の事業計画及び予算についてご説明申し上げます。

まず、平成28年度の決算事業報告でございます。

開発公社は、行っております事業を実施事業、その他事業と法人会計に分けております。公益目的事業二つを実施事業、収益事業三つをその他事業としております。

それでは、まず公益目的事業1といたしまして、かき殻等加工処理事業でございます。

1ページ目の下のほうの事業項目からご説明申し上げます。

このかき殻等加工処理事業では、鳥羽市及び近隣市町の養殖業者から排出されるカキ殻を粉碎処理し、土壌改良剤として販売を行いました。年度当初、原材料の不足がありましたので、平成28年度も販売調整と生産調整を行いました。

2ページ目をごらんください。

その結果、生産数量では3,154トン、220トンの対前年の減少となっております。販売数量は3,162トンで、169トンマイナス、販売金額は4,347万5,000円となり、対前年で192万5,000円の減収となりました。

②かき殻処理負担金でございますけれども、業者数で3社減少いたしました。いかだの台数では6台増加し、受け取り金額は3万2,500円の増加となっております。

③の設備投資といたしましては、塩害と老朽化によりベルトコンベヤーの取りかえ工事を行いました。公益目的事業の2は、土地分譲事業でございます。

この事業は、公社保有の土地を処分していく事業を行っております。保有土地において、本年度は56筆を保有管理し、帳簿価格は7億1,500万円となっております。

松尾第2期工業団地取得造成費の借入金につきましては、元金3,000万円を返済し、2億1,000万円の借りかえを行いました。

次に、その他事業のうち、収益事業1として、土地建物貸付事業でございます。

この事業のうち、土地の貸し付けにつきましては、収益として469万1,000円で10万8,000円の増加となっております。

②建物の貸し付けでは、引き続き鳥羽駅2階店舗、開発公社管理棟、鳥羽駅前店舗の貸し付けを行いました。店舗契約数の増減はございません。設備投資といたしまして、開発公社管理棟の耐震補強工事を行っております。

次に、収益事業の2は、施設管理事業でございます。

鳥羽市より鳥羽マリナーミナルの指定管理を受け、6年目の管理運営を行いました。鳥羽マリナーミナルの基本コンセプトに沿って、イベント等を行い、佐田浜周辺の利用者の拡大に努めました。

①は施設の利用状況でございます。②は施設の年間利用者数で、③は行った主なイベントとなっております。次に、収益事業の3、駐車場事業でございます。

佐田浜地区で4カ所、JR鳥羽駅に1カ所の計5カ所の駐車場の管理運営を引き続き行いました。その結果、前年度対比で一般利用者数の合計では17万1,404台となり、419台の減少となっております。売り上げも5,137万1,000円となり、259万1,000円の減収となっております。

7ページをごらんください。

②は駐車場内店舗を2者に貸し付けております。駐車場につきましては、大きな設備投資はございませんでした。

8ページから13ページは、100万円以上の重要な契約事項及び役員、評議員に関する事項並びに理事会、評議員会の開催状況、そして職員数の状況となっておりますので、ごらんおきください。

職員数につきましては、13ページをごらんください。平成28年度は9名となっております。

14ページ以降の決算書類につきましては、市議会本会議におきまして副理事長からご報告させていただいたとおりでございますので、ごらんおきください。

以上、鳥羽市開発公社の平成28年度の経営状況の報告について説明させていただきました。

続きまして、平成29年度の鳥羽市開発公社の事業計画につきましてご説明申し上げます。

予算書の1ページをごらんください。

まず、公益目的事業でございます。

1としまして、かき殻等加工処理事業につきまして、平成29年度も引き続き行ってまいります。

①の生産予定数量及び販売予定数量を3,700トンとしております。売り上げ予定額は5,029万円を見込んでおります。

②かき殻処理台数につきましては、いかだの台数で1,868台、処理負担金は472万3,000円を見込んでおります。

③の設備投資でございます。設備投資につきましては、老朽化によるエアコンプレッサーの取りかえに148万7,000円及び業務用掃除機の購入に56万6,000円を計上しております。

次に、2番の土地分譲事業は、鳥羽市と連携いたしまして松尾第2期工業団の企業誘致に努め、松尾第2期工業団地用地取得造成資金の借り入れにつきましては、平成29年度も3,000万円を返済し、残金について借りかえを行います。処分土地につきましては、鳥羽市と調整して行っていきます。

次に、収益事業でございます。

土地建物貸付事業ですが、所有土地を初め、鳥羽駅2階店舗、公社管理棟、鳥羽駅前店舗を売店、食堂、事務所等として貸しつけを行います。

①の土地の貸し付けでございます。開発公社所有土地の有効活用を図ることを目的に、鳥羽市及び市民等への土地の貸し付けを行います。

②の建物の貸し付けにつきましても、平成28年度と同様、JR鳥羽駅、市民の森管理棟、鳥羽駅前店舗の貸し付けを行います。

③の設備投資といたしまして、鳥羽駅前店舗の看板新設を予定しております。

次に、2の施設管理事業でございます。

鳥羽市より5年間の指定管理者の指定を受け、鳥羽マリナターミナルの管理運営を行います。7年目となります。

次に、3番の駐車場事業でございます。

離島住民や周辺施設勤務者等の月極め定期利用及び鳥羽市を訪れる観光客等への誘致誘客を図ることを目的に駐車場事業を行います。

①は施設の概要でございます。

3ページの②は、予定台数と売り上げ予定額でございます。

③は店舗貸付として2店舗の継続契約をしております。

④の設備投資でございます。第2駐車場の屋上防犯カメラの取りかえ工事に146万6,000円、軽トラックの購入に80万円を計上しております。

3ページ下の収支予定額でございます。最後の行になりますけれども、平成29年度の損益は461万7,000円の利益を見込んでおります。

平成29年度の事業計画につきましては、以上となります。

4ページ以降の予算書に関しましては、平成28年度決算同様、市議会本会議におきまして副理事長に報告

していただきましたとおりでございますので、ごらんおきください。

説明は以上でございます。どうもありがとうございました。

○浜口一利議長 ただいま平成28年度決算について、また平成29年度の事業計画及び予算について説明がございました。

この件について質問があれば伺いたいと思います。ありませんか。

○浜口一利議長 尾崎議員。

○尾崎 幹議員 28年度の役員に関する事項で、これは29年度は新しくなっておるやんか。僕が今見ておる限りは29年度の計画の中に入っていないんやけれども、入っておるか。

(「役員に関する事項は予算書には載せておりません」の声あり)

○尾崎 幹議員 ほんで、ちゃんとかわったの。

○浜口一利議長 はい。

○坂倉鳥羽市開発公社事務局長 すみません。かわっております。

○浜口一利議長 尾崎議員。

○尾崎 幹議員 役員報酬が1万8,000円ぐらいしかついていないというのが、ほんで前年度、28年度は役員会議すらもしてへんのかなど。こういう開発公社の事業というのは幅広いわけやんか。役員の人らが責務を果たしていないんじゃないかなどというのが、もうここに見えてくるわけさ、数字と。もうちょっと役員の方にしっかりと開発公社のことを真剣に考えていただいて、いいものと悪いものを区別せな。そこら辺をしっかりとしてもらわないと。いや、開発公社は頑張っておるのに、全然問題が解決されるような流れが本当にできていないわけさ。これはやっぱりどうにかしてもらわないかん、役員の責任なんやで。去年1年間の会議費が700円というのは、何かなど。余りにひどくないかと。

○浜口一利議長 その点も含めて、ちょっと説明をお願いします。

坂倉事務局長。

○坂倉鳥羽市開発公社事務局長 尾崎議員のご質問に対しましてお答えいたします。

役員会議は開いていないわけではなく、役員報酬につきましては、理事、評議員の皆さん、市役所の職員の皆さんには無報酬ということでやっけていただいております。役員費用につきましては、評議員に2名、民間の方がございまして、その方にお支払いしておる分でございます。会議につきましては、載せてもらっている会議の数はやっておりますので。

○浜口一利議長 会議は何回も開いておるけれどもということで、よろしいですね。

○尾崎 幹議員 はい。

○浜口一利議長 坂倉事務局長。

○坂倉鳥羽市開発公社事務局長 会議に関する事項につきましては、12ページ、13ページ、決算書のほうに載せていただいておりますので、ごらんおきください。

○浜口一利議長 はい。

○尾崎 幹議員 ただ、これは毎年同じ問題やんか。やっぱりどこかでもうちょっと開発公社のあり方も考えてやらないといかんし、それでなくてもお金をもうけさせてやらないかん部分をもう一遍見直ししっかりと、新

しい体制になったわけですから、その人の責任を全うしてもらうように開発公社の代表として言わなあかん。
以上です。

○浜口一利議長 他にございませんか。答弁はええな。

(「なし」の声あり)

○浜口一利議長 よろしいですか。

(「はい」の声あり)

○浜口一利議長 それでは、ないようですので、この件については終了したいと思います。

説明員入れかえのため、暫時休憩いたします。

(午前10時12分 休憩)

(午前10時19分 再開)

○浜口一利議長 休憩前に引き続き、会議を再開します。

続きまして、③平成30年度予算編成方針についてであります。

それでは、担当職員の説明を求めます。

企画財政課長。

○山下企画財政課長 企画財政課の山下です。よろしくお願いします。

それでは、平成30年度の当初予算編成方針についてご説明を申し上げます。

事前に提出しております資料の1、平成30年度予算編成方針をごらんください。

1ページは、鳥羽市の財政状況としまして、これまでの財政推移の歳入についてポイントを示しております。自主財源であります市税が平成19年度から28年度の10年間で13%減少をし、依存財源であります地方交付税などで補っております。

2ページをお願いします。

財政推移としての歳出です。平成19年度と28年度の比較では、特に社会保障費の増加により扶助費が7億8,000万円から14億円と約2倍になったほか、補助費等もごみ処理に係る鳥羽志勢広域連合分担金の増加などで1.7倍となっております。

5ページをお願いします。

今後の見通しにおける人口減少による影響でございます。鳥羽市人口ビジョン・人口分析に関する報告によると、鳥羽市の人口は、自然減・社会減により2025年には1万7,000人を下回るまで落ち込むと予想されています。このことは、人口を基礎に算定される項目が多い地方交付税の減収を意味しております。また、生産年齢人口の減少による市民税の減収や、歳出では65歳以上の老年人口比率が2025年には40%を超えると予想され、社会保障費の増加は避けられない状況となっております。

6ページをお願いします。

国や県などの鳥羽市を取り巻く財政状況は、今後も厳しい状況が続くと予想されます。このような状況を踏まえまして、30年度の一般会計における予算編成基本方針では四つの方針を示しております。

一つ目は、人口減少に対応した公共資産のあり方について、平成29年3月に策定した鳥羽市公共施設等総

合管理計画に基づき、中長期の視点に立ち、統廃合や除却を進めていくこと。

二つ目は、総合計画などの実現に向けた事業の取り組みとして、平成30年度は第五次総合計画の後期基本計画の中間年度に当たることから、目標達成に向けた検証を踏まえて予算要求すること。

7ページをお願いします。

三つ目は、財源の確保等に向けた取り組みの推進として、特定財源確保や補助メニューの工夫、産学連携の強化に努めること。

8ページをお願いします。

四つ目は、市長が目指す市政運営として、これまで本市が行ってきた重点施策を継承しながら、中村市長が目指す市政運営について、次の7点について重点配分することとしております。

一つ目は、産学連携も見据えた稼ぐ源泉の発掘による新たな雇用の創出。

二つ目は、芸術文化を融合した観光振興施策や政策観光による魅力発信に資する施策。

三つ目は、国際観光文化都市にふさわしい景観、まちづくりと快適な環境空間を創造する施策。

四つ目は、移住定住による生産年齢人口の増加策に加えて人口流出抑制策。

五つ目は、防災まちづくりと地域の受援力強化に資する施策。

六つ目は、地域共生社会の実現に向けた福祉施策の推進。

七つ目は、公民連携を通して市民が交流できる場づくりと移動手段の方策。

この7点を挙げております。

続いて、特別会計並びに企業会計の当初予算編成につきましては、これまでと大きな変更はございません。

次に、資料の3番です。

A4横の資料で、左上に平成30年度当初予算見込み（一般財源ベース）歳入と書いております。平成30年度の財政フレームについて、主な点をご説明申し上げます。

上の段の地方一般財源収入の市税では、固定資産税の評価替えによる影響などから6,000万円の減となっております。それから地方消費税交付金では、28年度の決算額と29年度の決算見込み額を考慮し4,000万円の減、それと普通交付税のほうは、国にほうから2.5%下がるというふうな動きになっております。それと財政調整基金のほうでは、重点事業、大規模事業を今、対応する前に1億5,000万円を一旦置いております。

下の段、その他のところですが、職員退職手当基金の繰入金については、定年退職者の増加に伴い1億円の皆増、ふるさと創生基金繰入金のふるさと納税分については900万円の増としております。

以上、歳入一般財源総額見込みとしては76億5,200万円となりまして、前年度の肉づけ予算後と比較しますと8,100万円の減となります。

続いて、裏面の歳出の一般財源ベースです。

経常経費の義務的経費では、公債費は前年度と同額程度ですが、定年退職者数の増加などの影響によりまして約3,000万円の増です。

政策経費の大規模事業では約8,000万円の減となっておりますが、現時点では支弁の人件費のみの計上における比較となっておりますので、各課のヒアリングを受けまして増加する見込みとっております。一般

事業については、終了事業を見込んだほか、大規模建築物耐震改修事業費補助金などは債務負担行為設定事業へ移行しております。その他では、都市計画税の過剰分を基金化することに伴うことなどによりまして約1億円の増となります。

このようなことから、本日の説明につきましては現時点での歳入歳出の見込みのため、変動する可能性が大いにあります。例年にも増しまして大変厳しい予算編成になると思います。各方面に協力をいただきながら、特色のある予算を組めるよう努力しますので、ご理解のほどよろしくお願い申し上げます。

当初予算編成方針の説明は、以上でございます。

○浜口一利議長 ただいま企画財政課長のほうから、鳥羽市の財政状況とその課題の説明と、また、それを踏まえて来年度の予算編成方針ということで説明をいただきました。

これについて質問があれば受けたいと思いますけれども、どうでしょうか。

予算編成方針とか説明でわかりにくかった点など質問があれば。

尾崎議員。

○尾崎 幹議員 市長が目指す市政運営というところの中には、やっぱり自主財源がここまで減ってくると独自性が出せへんわけやんか。出しておったのも消えてしまっておるわけやで、そこら辺の管理をもう一遍精査して、市長の市政運営の中身は変えていかないかん。こんなんでは一切上がらへんやんか。防災に取り組むとか。そうじゃない。やっぱり経済をしっかりと上げることが、おたくらの役目になってくるわけやで、そこら辺は市長と話をしていますのか、ここまで方針を出すということは。

○浜口一利議長 企画財政課長。

○山下企画財政課長 一応、市長のほうとは話をしました。尾崎議員さんがおっしゃるように、私どもも産業振興、経済の活性化ということは本当に一番重要ポイントと思っていますので、今回は、この1番のところに産学連携を見据えた「稼ぐ」という言葉を使いましたけれども、これから鳥羽市が頑張っていくためには、やはり収入を得る工夫がこれまで以上に要りますので、そのあたりは重視しますので、そこにつながるように頑張ります。

以上です。

○浜口一利議長 尾崎議員。

○尾崎 幹議員 今言われた産学連携というのは、入ってくるんじゃないに出していくほうやんか。それしか見えてへんよってさ。そういうんじゃないに、伊勢市より上はもうみんな各市町が手を結び始めておるわけさ。何で鳥羽だけが入っていかへんのか、僕は不思議でしゃあない。そういうことで全体に、鳥羽だけを上げるんじゃないに鳥羽の周りと手を組んで上げていく手法というものをしっかりと考えやな。伊勢市はもう伊勢市より上を全部自分の中身に入れておるわけやで、そういうことまでしっかりと考えて、市長のもうちょっと踏み込んだ政策のもとで上げることを考えてください。

以上。

○浜口一利議長 答弁はええな。

○尾崎 幹議員 要らん。

○浜口一利議長 答弁はいいそうなので。

他にございませんか。

(「なし」の声あり)

○浜口一利議長 世古議員、ありませんか。

世古議員。

○世古安秀議員 1点だけ。先ほど尾崎議員からも出ました市長が目指す市政運営の中の1番、産学連携ということでなっていますけれども、最近は金融機関も含めて、市の各業者のいろんな事業に対しても応援してもらおうやという「金」も入れた動きが出ておるんです。それが入っていないんですけども、その辺は考えた上での連携ということでよろしいのかな。

○浜口一利議長 企画財政課長。

○山下企画財政課長 おっしゃられることはよくわかります。金も入れるということも十分承知しておりますけれども、たまたま表現の中ではそこは入っていませんもので、意識は十分していますので。

以上です。

○浜口一利議長 世古議員。

○世古安秀議員 ぜひ、金融機関も非常に、お金もいろいろと使ってほしいということで、産業も応援したいということでやっていますので、そういう連携をとって鳥羽市の観光産業、あるいはまた漁業の地場産業の活性化に、何やと言うてもやっぱり収入を上げていくというふうなことが一番大事なのかなと思いますので、その辺の連携もきちんとまたうたってもらってやっていただきたいと思います。

以上です。

○浜口一利議長 他にございませんか。

戸上議員。

○戸上 健議員 僕もざっと読んだだけやもんで、よう発見しなかったんですけども、議会の決算委員会が指摘した事項について、当初予算でそれに留意するという文言が、これまでの予算編成方針の中には盛り込まれておったと思うんですけども、その記述はありますか。ちょっと僕はよう発見せんだんやけれども。

○浜口一利議長 企画財政課長。

○山下企画財政課長 7ページをお願いします。

7ページの上のほうの4行目のところに「その他、予算決算常任委員会での提言や定期監査の指摘事項を踏まえ」というふうに書いております。現在、議会のほうから提言をいただくことを待っておりますので、また出てきましたら、それを踏まえまして検討させていただきます。

○浜口一利議長 戸上議員。

○戸上 健議員 これまでは基本方針の前段部分に記入があったと思うんですけども、その他の項というか、①、②の最後の部分に2行書いてあるだけやもんで、僕はよう発見しなかったけれども、財政当局からすれば、意識の中には置いてあるということでした。決算委員会の委員間討論で指摘した事項というのが何項目かあったはずなんです。言わずもがなだとは思っただけけれども、十分そこは留意してもらおうようにお願いしておきます。

以上です。

○浜口一利議長 ただいま戸上議員の決算委員長としてのこともあるし、議会としての初めての試みで提言書を出すというような形をとっておりますので、そのあたりも踏まえた形で予算編成もお願いしたいと思います。他にございませんか。

(「なし」の声あり)

○浜口一利議長 よろしいですか。

(「はい」の声あり)

○浜口一利議長 それでは、ないようですので、この件については終了したいと思います。説明員を入れかえますので、暫時休憩いたします。

(午前10時35分 休憩)

(午前10時36分 再開)

○浜口一利議長 続きまして、④伊勢志摩ナンバー導入に関する市民意識調査結果についてであります。それでは、担当職員の説明を求めます。

山本副参事。

○山本副参事 よろしく申し上げます。企画財政課、山本です。

それでは、事前に配付をさせていただいております資料をごらんください。

この調査につきましては、市民意識調査の実施ということで、ご当地ナンバーの導入に向けた要件の中に、市民の意向を確認するようというところもございますので、9月5日の全員協議会でご説明をさせていただいたとおり、アンケートを行いました。

内容を報告させていただきます。

対象年齢のところから、18歳以上の無作為抽出で2,000名の方にアンケートを送付させていただきました。今回のアンケートにつきましては、総合計画の市民意識調査と一緒に項目を追加させていただいて実施をしたところです。

期間といたしましては、9月5日から9月20日までの約15日間をとっております。集計は10月3日の集計として報告をさせていただきます。9月20日以降も順次来ていますので、10月3日までの数字で集計をさせていただきました。

回答数としましては645名の回答がありました。そのうち、伊勢志摩ナンバーの導入についての有効回答数として575名の回答があり、回収率としましては28.75パーセントと約30%近い数字になります。

内容の5番につきまして、アのご当地ナンバーについてということで、「賛成」と「どちらかと言えば賛成」を足しますと66.6%の賛成がございました。あと、「反対」につきましては33.4%ということと、イの図柄入りについては、「希望する」「図柄によっては希望する」ということで57.5%の賛成があったところです。

ウの図柄としてふさわしいモチーフということで聞かせてもらった中には、鳥羽の場合は、「真珠」「海女」「伊勢海老」というような形の投票が多かったということです。

次に、関係団体からの導入要望についてということで、観光協会と商工会議所から、伊勢志摩ナンバーを進

めてほしいと強く申し入れが来ております。

3番目に、その他の市町のアンケートが終わったところの状況を参考に入れさせていただきました。

伊勢市につきましては、3,500のアンケートを送りまして1,733名の回答があったということで、伊勢志摩ナンバーの賛成率は77.6%、図柄入りのナンバー賛成率につきましては67.9%になっています。図柄としましては、「宇治橋」「夫婦岩」「鳥居」というようなところですよ。

志摩市につきましても、この10月20日を締めでアンケートが終わったところですよ。3,000名を対象に1,461件の回答があつて48.7%になります。伊勢志摩ナンバーの賛成率として82.7%、図柄入りナンバーにつきまして73.2%、図柄としましては、「真珠」「伊勢海老」「賢島」のリアス式海岸というような風景のところが主な回答になっております。

次に、南伊勢町なんですけど、700件を送つて358件の回収率があつて51.1%の回収率で、伊勢志摩ナンバーの賛成率が83.8%、図柄入りのナンバーにつきましては72.1%、図柄としましては、「宇治橋」「伊勢海老」「真珠」というようなところが大きく出ております。

ほかの地域と鳥羽市の回収率を見ると、ちょっと少ないところなんですけど、鳥羽市の場合は総合計画の意識調査と一緒に送つたということがありまして、ほかの3市町につきましては単独でアンケートを行っています。その分、回収率が上がったということかなと思います。市民意識調査で鳥羽市の場合はちょっとお金をかけずに一緒にやつたというところで回収率が落ちたというところはありますが、60%から70%の賛成率かなというような範囲やつたかなとは思っております。

あと、またこれから地域の機運の盛り上げとか、そういうところが重要になってくると思いますので、まずは11月1日号の広報とばに伊勢志摩ナンバーの取り組みについて記事を掲載させていただきます。その後、三重県のほうに11月中に要望書を提出するというような流れになっております。三重県への要望書の提出のときには、先ほど申し上げましたとおり、機運を盛り上げるために、うちの市長を初め、ほかの市町の首長さん、または副市長さん、副町長さんも一緒に行つて要望を出してきたいと思っております。

今の現状につきましては、以上の報告になります。ありがとうございます。

○浜口一利議長 ただいま、ご当地ナンバープレート導入に向けたアンケート調査の報告ということで、市民の皆さん方の意識調査の結果を報告いただきました。

これについて質問があれば受けたいと思いますけれども、どうでしょうか。

戸上議員。

○戸上 健議員 アンケートをこれだけ念入りにとつたわけだから、この結果というのは十分尊重されるというふうを考えてよろしいんですか。

○浜口一利議長 山本副参事。

○山本副参事 はい、尊重して推進をしていきたいと考えております。

○浜口一利議長 戸上議員。

○戸上 健議員 図柄なんですけれども、県が決めるわけやろう。

○浜口一利議長 山本副参事。

○山本副参事 図柄につきましては、各市町の要望等を踏まえて全体で調整して決めるということになっており

ます。

○浜口一利議長 戸上議員。

○戸上 健議員 アンケート結果を尊重することなんだから、トップが真珠、2位が海女ということになっています。これがワン・ツーなんです。だから、海女さんが真珠を掲げておるという図柄になれば、これはワン・ツーそのまま住民意識調査を率直に反映したということになります。ですから、そのあたりを強力に言うて、そういうナンバーに伊勢志摩ナンバーをしてもらうように、デザイン、図柄については、担当課として進めてほしいというふうに思うんです。

○浜口一利議長 山本副参事。

○山本副参事 今回は、今、構成というか、参加市町が、以前報告させていただいたときには3市5町——6町かな——で報告をさせてもらったと思うんですが、まず多気町が抜けて、大台町が抜けたというような形で、今の状況はそういう形になっています。それで、参加市町の中で、今こういうモチーフのところ、アンケートをとらせてもらって結果が出ております。鳥羽市の場合、戸上議員が言われますように真珠と海女を強く要望を出していきたいと思っております。それが全体の中で議論されて決まる流れになりますので、鳥羽市としては真珠、海女というところを強く要望を出していきたいと考えております。

○浜口一利議長 調整をした上でというような答弁でしたけれども、鳥羽市としては海女と真珠、よろしく強く推してくださいということをお願いします。

他にございませんか。よろしいですか。

(「はい」の声あり)

○浜口一利議長 それでは、ないようですので、この件は終了いたします。

執行部の皆さんは退席をお願いします。ご苦労さんでした。

続きまして、協議事項2、議会からの報告事項についてであります。

そのうち、①TOBAミライトークの事後処理についてであります。

広報広聴委員長に説明を求めます。

山本委員長。

○山本哲也議員 それでは、私からTOBAミライトークの事後処理について説明させていただきます。

昨年度からTOBAミライトークとして議会報告会及び意見交換会を行っておりますが、議会運営委員会で決定していただいた委員会等での取り扱いについて一度ご報告させていただきます。

お手元のA4横資料をごらんください。

TOBAミライトーク実施一覧といたしまして、実施日、団体、議運での決定事項ということで書いてございます。一読させていただきます。

平成28年度は、9月8日の木曜日、ママ&キッズサークルin答志島、これは実証実験といたしまして開催させていただいております。

そして、12月22日の木曜日、鳥羽市母子寡婦福祉会とのミライトーク。これは、議運での決定事項といたしましては、市民意見として聞きおくと。

そして、26日水曜日、菅島の未来を守る会とのミライトークでは、文教産業常任委員会での取り扱いとい

うことで決定しております。

明けて1月17日火曜日、成人式実行委員会とのミライトークも実施しております。

2月15日に鳥羽市老人クラブ連合会とのミライトークを実施しまして、空き家対策について、こちらは文教産業常任委員会での取り扱い。

そして、今年度、7月24日月曜日、鳥羽市介護保険サービス事業者連絡協議会とのミライトークでは、総務民生常任委員会での取り扱いというふうにさせていただいております。

上にも書いていただいておりますが、母子寡婦福祉会、菅島の未来を守る会、老人クラブ連合会、介護保険サービス事業者連絡協議会等々、全てのミライトークの報告書はグーグルドライブで共有もさせていただいておりますので、気になるところがあれば、思い返し等々、振り返り等で見いただけたらいいかなというふうに思っております。

私からの報告は、以上でございます。

○浜口一利議長 報告は以上となります。

皆様に取り扱いをお願いいたします。

TOBAミライトークの事後処理ということなんですけれども、議会とか、委員会、各議員の活動に生かしていく必要があると思いますので、よろしく願いをいたしたいと思います。

説明は終わりました。

この件について質問があれば、よろしいですか。

(「なし」の声あり)

○浜口一利議長 それでは、ないようですので、この件は終了をいたします。

以上で、本日の協議事項は全部終了いたしました。

これをもちまして全員協議会を散会いたします。

(午前11時00分 散会)

議長はこの会議録をつくりここに署名する。

平成29年10月25日

鳥羽市議会議長 浜 口 一 利